

平成 30（2018）年度

文京学院大学人間学部  
FD 委員会報告書（概要）

人間学部 FD 委員会作成

# 平成 30 年度 人間学部 FD 委員会 報告書

あいさつ	p. 1
I 今年度の活動目的	p. 2
II 活動経過と内容	p. 3
III 今年度の FD 活動を振り返って	p. 5
IV 委員会議事録 (第 1 回～第 9 回)	p. 6
V 委員氏名	p. 16

## あいさつ（木村浩則 学部長）

今年度の FD 活動は、多様な学生が入学してくる現状において、学生の学力保障のためにどのような授業改革、教育改革が求められているのかをテーマに取り組んできました。前期には、神戸国際大学の居神浩氏をお招きし、「学生の多様化を正面からとらえた教学改革を」と題してご講演いただきました。後期は、各学科に分かれ、学生の現状を踏まえつつ、ディプロマ・ポリシーに向けた教育をいかにして実現していくのかをテーマに討議しました。その際、学生の現実から出発すること、そして何らかの教育技術や手法を学ぶというよりも、問うこと、議論することに重点を置きました。

現実とは、数値だけで捉えられるものではなく、一人ひとりの学生と直接向き合う過程のなかでリアルに把握されるはずのものです。それゆえに現実には、客観的何かというよりも、私に対して解決を迫る何かとして現れます。つまり、現実に向き合うことから、私たちにとっての切実な問いが生まれるということです。今回、活発な議論がなされた背景には、「いかにして学生の学力を保障するのか」という問いが、学生の現実に向き合う教員集団にとって、まさにそのような切実な問いであったからではないでしょうか。



政府主導の教育改革が全国の大学に一律に求められるもとの、ノルマの達成に振り回される営業社員のようになり、大学教員もまた矢継ぎ早の制度改革に追われ、大学における「教育とは何か」という根本のところが見えなくなっているように思われます。「教育とは何か」という問いに明快な答えはありません。それは、教育実践を通じて常に問い直されるものであり、学生との出会いを繰り返す度に新たな問いとして立ち現れてくるものです。そしてその問いは、客観的な問いというよりも応答的・倫理的問いとして、私たちに突き付けられるのです。と同時に、私たちはその問いによって、教育者として成長するよう迫られるのです。

FD 活動とは、最終的には「教育とは何か」という問いに帰着するはずのものです。それゆえに、絶えざる問いを生み出す営みとして、私たちの成長を励まし続けるものでなければならないと思います。

最後に、FD 委員の皆様、この 1 年、お世話になりました。そして次年度もよろしくお願いいたします。

## I. 今年度の活動目的

人間学部の FD 委員会は、今年度で発足 6 年目を迎える。

毎年、活動報告書を作成して成果を確認し、さらにその反省をもとに次年の活動の方向性を決めている。今年度は過去 5 年分の報告書の概要を作成して、大学のホームページ上に「バナー」を設置して、公開することにした。

また、学生の多様化に対応するため、前期は講師をお招きして知識の共有化を図ることにした。そして、後期は「学生の多様化と DP (ディプロマ・ポリシー)」というテーマで、学科ごとに学生の姿を確認しながら、どのような工夫をしたら DP に到達させることができるかを検討することにした。

(金子智栄子 FD 委員長)

## II. 活動経過と内容

実施日	FD 委員会（主な議題と内容）	研修会
<前期> 4/18（水）	第 1 回 ・今年度の FD 委員会と学部 FD 研修について ・今年度の取り組みについて ・学部 FD 研修会について	学部前期 FD 研修会
5/2（水）	第 2 回 ・今年度の取り組みについて ・学部 FD 研修会について	
6/6（水）	第 3 回 ・学部 FD 研修会について	
7/4（水）	・人間学部 FD 委員会報告書の公開について 第 4 回 ・学部 FD 研修会について（確認） ・人間学部 FD 委員会報告書の公開について ・全学 FD・SD 委員会案	
8/1（水）		
<後期> 10/3（水）	第 5 回 ・学部の前期 FD 研修会の評価と反省 ・後期 FD 活動の方向性の確認 ・人間学部 FD 委員会報告書の公開について	
11/7（水）	第 6 回 ・後期の学部 FD 研修会のテーマについて ・人間学部 FD 委員会報告書(公開用)の修正について ・全学 FD・SD 委員会と内部質保証委員会の合同会議 (10/3) の報告	
12/5（水）	第 7 回 ・人間学部 FD 委員会報告書(公開用)の旧 FD 委員による修正について ・平成 30 年度 FD 委員会報告書(学内用)構成(案) →概要の公開 ・後期の学部 FD 研修会のテーマについて	
平成 31 年 1/9（水）	第 8 回 ・後期学部 FD 研修会 テーマ「学生の現状と DP」について ・平成 30 年度 FD 委員会報告書(学内用)の原稿締め切りについて	

1/30 (水)		学部後期 FD 研修会
3/6 (水)	<b>第 9 回</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部後期 FD 研修会の反省について</li> <li>・平成 30 年度 FD 委員会報告書について</li> <li>・今年度の活動の反省と評価について</li> <li>・次年度の FD 活動の方向性について</li> <li>・外国語学部 FD 研修会参加報告</li> </ul>	
3/19 (火)		全学 FD・SD 研修会

### Ⅲ. 今年度のFD活動を振り返って

人間学部のFD委員会は、今年度で発足6年目を迎え、過去5年分の報告書(概要)を大学のホームページ上に「バナー」を設置して、公開することができた。ネット上での活動報告は、本学の委員会としては初めてと考えられることから、過去の委員を含めて一同が発展の歩みを確認できたと考える。今年度までの流れを簡単に説明すると、最初の3年間は授業評価が伴う授業参観を行い、4年目は「アクティブ・ラーニングの視点に立った魅力ある授業づくり」、5年目は「合理的配慮」がテーマとなった。そして6年目である今年度は、「学生の多様化と教学改革」をテーマに、学生の現状を把握しながら、いかにしたらDPに到達させることができるかを検討した。

今年度の前期は、研修会に居神 浩先生(神戸国際大学経営学部教授)をお招きして、「学生の多様化を正面から捉えた教学改革を」と題して、ご講演をいただいた。アンケート結果は、「①本日の公演は有意義でしたか?」は『a. はい』が81%、「②本日の質疑応答は参考になりましたか?」は『a. はい』が70%、「③研修内容について」は『b. 適当』が78%で、有意義な講演だったことがわかる。

その共通理解を基に、後期は学科単位で「学生の多様化とDP」というテーマで、実際の学生の現状に合わせた対応についてKJ法を用いて検討した。アンケート結果は、「①本日の学科別討議は有意義でしたか?」は『a. はい』が94%、「②本日の報告は参考になりましたか?」は『a. はい』が94%、「③研修内容について」は『b. 適当』が91%だった。DP到達の視点を「卒論」や「実習」に置く傾向が強かったが、学科による違いや共通点、様々な工夫などが討議され、多くの学びが得られたと考えられる。

(金子智栄子 FD委員長)

## IV. 委員会議事録（第1回～第9回）

### 第1回 FD委員会

日時：平成30年4月18日（水）12時30分～13時00分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行、  
文野洋

#### <議題>

#### 1. 今年度のFD委員会と学部FD研修について

##### 1) 委員会の日程

前期：4/18、5/2、6/6、7/4

後期：10/3、11/7、12/5、1/9、（2/27）

\*上記日程の15時～16時

##### 2) FD研修の日程

前期：7/25

後期：1/30

\*時間は未定

#### 2. 今年度の取り組みについて

次回の委員会で詳しく検討するが、今年度前期は「カリキュラムをどうデザインするか」というテーマで取り組んでいくことが提案された。カリキュラムについて学科内で話し合う時間がなかなか確保できないので、FDで取り組むことができると良いのではないかとの意見が出た。

「学生にとって分かりやすい授業とは」というテーマについても関心があるとの意見が出た。

#### 3. 学部FD研修会について

今年度の取り組みと併せてFD研修会で取り上げたいテーマを、次回委員会までに考えてくることとなった。外部の先生をお招きして研修を行うことが提案された。

以上

次回のFD委員会：5月2日（水）15時～ 西館講師控室にて開催予定



## 第2回 FD委員会

日 時 : 平成30年5月2日(水) 15時00分~16時00分

場 所 : 西館3階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行、文野洋、

欠席者 : 安藤美樹

### <議題>

#### 1. 今年度の取り組みについて

学部FD研修会の内容と合わせて、今年度の取り組みを検討することとした。

#### 2. 学部FD研修会について

外部講師をお招きし、研修を行うこととした。外部講師として、木村学部長より 居神浩(いがみ こう)神戸国際大学経済学部教授が推薦された。

本学の学生の現状として、レベルの差が広がっている、学習到達度の手前の学生の現状もあるとの意見が出た。学生をどの様に育てて送り出すか、個々の教員がどう取り組むのか、そのためには教員間での連携や学科毎でどう取り組むか話し合うことが必要ではないかとの意見が出た。

また、FD研修会には、職員にも出席していただけるといいとの意見が出た。

居神先生へのご依頼は、木村学部長が担当してくださることとなった。

「次回のFD委員会:6月6日(水)15時~ 西館講師控室にて開催予定」

## 第3回 FD委員会

日時 : 平成30年6月6日(水) 15時00分～15時40分

場所 : 西館3階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行、  
文野洋

### <議題>

#### 1. 学部FD研修会について

下記の通り実施されることが確認された。

日時 平成30年8月1日(水) 14:50～16:20(予定)

場所 大会議室

司会 金子委員長

##### 1) 進行について

下記の通り実施されることが確認された。講演タイトルは講師に検討を依頼することとなった。

(1) 挨拶 木村浩則 学部長

(2) 講演タイトル: 未定

講師 居神浩(いがみ こう)先生(神戸国際大学経済学部教授)

(3) 質疑応答

##### 2) アンケートについて(別紙)

例年通りの形式で行われることが確認された。

##### 3) 準備等について

下記の準備および当日の業務について例年通り進めていくことが確認された。議事録作成は委員長より助手の方に依頼することとなった。

(1) アンケート印刷、集計

(2) 議事録作成

(3) 出席確認

#### 2. 人間学部FD委員会報告書の公開について

「委員会の活動目的・活動経過・活動内容」「今年度のFD活動を振り返って」「FD委員会議事録」等は内容を確認して(個人名等は明記せず)基本的に公開することとなった。外部講師の講演内容に関しては講師の許可を得て公開し、質疑応答については非公開にすることとなった。また、FD委員会報告書をサイトにアップできるよう求めていくことが確認された。

「次回のFD委員会:7月4日(水)15時～ 西館講師控室にて開催予定

次回の予定:報告書の公開に関する報告および学部FDの内容について確認・検討」

## 第4回 FD委員会

日時：平成30年7月4日（水）15：00～15：40

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行、  
文野洋

### 〈議題〉

#### 1. 学部FD研修会について（確認）

1) 日時：平成30年8月1日（水）14：50～16：20（予定）

2) 場所：大会議室

3) 講演演題「学生の多様化を正面からとらえた教学改革を」

4) 講師 居神 浩（いがみ こう）先生（神戸国際大学経済学部教授）

5) 当日のスケジュール等

講師紹介： 木村学部長

講演： 14：50～15：50（60分間）

グループセッション： 15：50～16：20（30分間）

→ここでは、講師の先生と本学教員との情報交換等をおこなう。先方も本学の状況について関心をお持ちとのことなので。なおグループセッションは、講師の先生にファシリテートをお願いする。

6) 座席の配置： 学科ごとにグループセッションができるよう、あらかじめ島を4つ作っておく。

7) アンケート： 検討済

8) 議事録・アンケート集計： 助手の先生が対応。1週間ほどかかる。講義部分と各グループと講師の先生との質疑応答部分は、助手の先生に議事録作成をお願いする。グループ内ディスカッション時は、録音のみをおこなう。

9) FD委員の当日の役割： グループセッションの際の司会や意見のとりまとめ。とくに事前に集合する必要はない。

#### 2. 人間学部FD委員会報告書の公開について

1) 最初の3年間は紙媒体を配布してきた。人間学部のHP内に、バナーとして設置することは可能である。したがって過去分については、金子委員長の監修および編集作業を経て、公開していく。目次、今年度活動、目的、計画、議事録部分を公開の予定。

2) 7月4日に定例広報委員会が開催されるため、そこで最終的な了承を得る。

3) 掲載については、2013（平成25）年度～2017（平成29）年度

### 3. 全学FD・SD委員会案

案1) プログテスト（受験者数約10万人）の活用方法についてのレクチャー。実施主体の団体に講師を依頼し、結果をどのように活用していけばよいのか、講義をおこなってもらう。現3年生はすでに1年次で実施しているため、データの比較が可能である。

案2) 大学の地域貢献のあり方について、先駆的な取り組みを実施している大学から講師を招く。たとえば松山大学では、積極的に地域貢献に力を入れている。また高大連携に力を入れている神奈川大学なども、招聘の検討の余地がある。

「次回FD委員会：10月3日（水）15時～。西館講師控室にて開催の予定。」

## 第5回 FD委員会

日 時： 平成30年10月3日（水）15時00分～15時55分

場 所： 西館3階 講師控室

出席者： 木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行、  
文野洋

### <議題>

#### 1. 学部FD研修会の評価と反省

研修会アンケートの結果（資料）をもとに意見交換を行った（以下、概要を示す）。

アンケート結果を見ると、学科でのワークも含め、概ね好意的な評価であった。要望としては、具体的なとりくみの話をもう少し聞きたかったという声が多かった。事前に発表資料を参加者に配付できれば、より理解がしやすくなっただろう。著作権の問題もあるので、これは可能な範囲で対応していくことになる。

#### 2. 後期FD活動の方向性の確認

前期研究会の講演をふまえて、後期FDの活動内容について検討することとした。入学時点で学力が不十分な学生がいることについての問題が講演でも取りあげられていたため、学生の学力を担保するための入学前教育や初年次教育についての共通認識を図る内容を考えるという方針が提案された。

各学科の委員より、学生の基礎学力や学習態度に関する現状の報告がなされ、学生間の基礎学力の差の拡大と、これに伴うモチベーションの差が存在することが共通して確認された。これらのキーワードを元に、次回さらに内容を詰めていくこととなった。

#### 3. 人間学部FD委員会報告書の公開について

委員長より、広報委員会から公開の許可が降りた旨の報告があり、各委員に報告書の概要（案）（資料）を確認するよう依頼がなされた。各委員は資料の内容を検討し、修正点があれば次回会議にて報告することとなった。報告書の公開については教授会でも報告する。12月をめどにHPに公開の予定。

「次回のFD委員会：11月7日（水）15時～ 西館講師控室にて開催予定」

## 第6回 FD委員会

日時 : 平成30年11月7日(水) 15時00分～16時30分

場所 : 西館3階 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、須藤佐知子、登丸あすか、西尾博行、文野洋

欠席者(公務のため) : 田嶋英行、安藤美樹

### <議題>

#### 1. 後期の学部FD研修会のテーマについて

前回の会議にて、入学前教育や初年次教育についての共通認識を図る内容がテーマとして提示されている。委員長より、更に具体的なテーマについては次回の会議で検討することが提案された。

#### 2. 人間学部FD委員会報告書(公開用)の修正について

各学科の委員より、報告書の修正点について報告がなされ、公開用として問題はないか点検及び検討が行われた。また、書式の統一についても、検討が行われた。検討の結果、修正箇所については、委員長と文野委員が担当することとなった。報告書の修正が終了次第、前FD委員宛メールにて内容の確認、11月教授会にて報告後、広報:情報管理センターへ提出の予定。

#### 3. 全学FD・SD委員会と内部質保証委員会の合同会議(10/03)の報告

全学FD・SD研修会テーマについて(正式なテーマは、講師にお任せ)

- 1) PROGテストの活用
- 2) 学修成果のアセスメント

委員長より、全学FD/SD委員会と内部保証委員会の合同会議にて、平成31年3月19日の全学FD・SD研修会のテーマは、1) PROGテストの活用、2) 学修成果のアセスメントについて決定し、講師検討中の旨、報告がなされた。

「次回のFD委員会:12月5日(水)15時～ W311にて開催予定」

## 第7回 FD委員会

日時 : 平成30年12月5日(水) 15時00分～16時00分

場所 : W311

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行

欠席者 : 文野洋

### <議題>

#### 1. 人間学部FD委員会報告書(公開用)の旧FD委員による修正について

金子委員長より、旧FD委員による報告書の修正が完了したとの報告がなされた。

#### 2. 平成30年度FD委員会報告書(学内用)構成(案)→概要の公開

平成30年度の報告書案が提示され、執筆担当者、書式などが確認された。

#### 3. 後期の学部FD研修会のテーマについて

前期のFD研修会の内容・成果を踏まえ、後期の学部FD研修会(1月30日(水))のテーマが検討され、以下の通り決定および確認がなされた。

- ・テーマ「学生の現状とDP」に決定された。
- ・ワークショップ形式で実施されることが確認された。
- ・アンケート内容について：例年の形式を踏襲することが確認された。
- ・学科別討議：当日の学科別討議ではFD委員が司会を担当、また、児童発達、心理、人間福祉学科の3学科は2グループに分かれて実施することが確認された。

当日の準備の確認：個人に名札、グループごとに付箋、模造紙、マジック(4グループ分)を用意し、当日の撮影および記録を助手・副手が担当。

- ・学科別討議のテーマをより詳細に検討した方がよいとの意見が出され、次回の会議で検討することが確認された。

「次回のFD委員会：平成31年1月9日(水) 15時～ 西館講師控室」

## 第8回 FD委員会

日 時 : 平成31年1月9日(水) 15時00分～16時00分

場 所 : 西館 講師控室

出席者 : 木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、登丸あすか、西尾博行、  
文野洋

### <議題>

#### 1. 後期学部FD研修会 テーマ「学生の現状とDP」について

##### 1) ワークショップの内容の方向性について

木村学部長より3つのポリシー(DP・CP・AP)に関する課題が示され、ワークショップの内容について検討がなされた。

検討した結果、ディプロマ・ポリシーの求める能力像へと引き上げるためにどのような問題点があるのか、今後何ができるのか、この2点について議論していくこととなった。

現在、各学科にてディプロマ・ポリシーの見直しを行っているが、見直し前のディプロマ・ポリシーに基づいてワークショップを行うことが確認された。

##### 2) 準備・進行・アンケートの確認(添付資料)

金子委員長より当日に向けて準備状況が報告された。

研修の進行プログラムについては、下記のとおり決定および変更がなされた。

・日時:平成31年1月30日(水) 13時10分～14時40分

・討議の報告:5分×4報告 計20分 から 3分×7報告 計21分 へ変更

・おわりのあいさつ:3分 から 2分 へ変更

##### 3) 模造紙・マジック・付箋の確認

当日のワークショップで使用する物品(模造紙・マジック・付箋)について確認した。

#### 2. 平成30年度FD委員会報告書(学内用)の原稿締め切りについて

2月17日(日)までに各委員の感想(3～5行)を金子委員長へメール添付で提出することの確認がなされた。

「次回のFD委員会:平成31年3月6日(水) 13時～14時 西館講師控室」



## 第9回 FD委員会

日時：平成31年3月6日(水)13時00分～14時00分

場所：西館3階 講師控室

出席者：木村浩則、金子智栄子、安藤美樹、須藤佐知子、田嶋英行、西尾博行、文野洋

欠席者：登丸あすか(校務のため)

### <議題>

#### 1. 学部後期FD研修会の反省について

研修会アンケートの結果(資料)をもとに意見交換を行った。アンケート結果を見ると、学科でのワークも含め、かなり好意的な評価が得られた。話合いの時間を十分に確保できたこと、サブグループで取り組んだこと、前期の講演とのつながりとともにテーマを具体的に示したことなどが奏功したと考えられる。さまざまな解決策が示されたので、これらを実行に移していくことが求められる。

#### 2. 平成30年度FD委員会報告書について

金子委員長が作成した報告書案および公開用の概要案について内容を検討し、いくつか修正点を確認した。今年度のFD活動のテーマの表記は「学生の多様化と教学改革」とする。各案を委員が持ち帰って確認し、他に修正点がある場合には3月12日(火)までにメールにて周知する。これを受けて文野委員が3月19日(火)に完成版の原案を作成し、委員に配信する。完成版には写真も掲載する。次回委員会までにさらに修正点があれば指摘し、次回で確定とする。

完成した報告書ファイルの配信先は、昨年度と同様(議案参照)とする。紙媒体での保管は教務グループにて行う。各委員への配付分も含め、印字・製本を教務グループに依頼する。

#### 3. 今年度の活動の反省と評価について

報告書をHPにて公開することができたのは1つの成果といえる。公開に向けた作業を通じ、過去の活動記録を確認したため、各委員がFD委員会の活動の理解を深める機会にもなった。後期のグループワークにおいて、前期の講演内容とのつながりを示したこと、問題点の指摘に止まらず解決策まで検討したことは、討論を充実させるのに有効であった。今回の時間配分では難しいが、学科内のサブグループ間で討論結果を共有したり、他学科の教員と情報交換を行ったりする機会が設定できるとよい。

#### 4. 次年度のFD活動の方向性について

次年度の研修会も、今年度と同様に前期に講演会、後期にグループ討論という形態で進める予定とする。今年度はDPと到達度に焦点をあてたため、次年度は、各科目の到達度との関連で、厳格な成績評価についてとりあげるのも有力である。この点を中心に、各委員が次年度の活動テーマについて次回までに検討しておくこととなった。

#### 5. 外国語学部FD研修会(2月13日)参加報告

金子委員長より、当日の配付資料とともに研修会の内容についての報告があった。配付資料は、次年度の活動の方向性を検討する上でも参考になるため、次回までに各自資料を通読しておくこととなった。

「次回のFD委員会：4月4日(木)14時～ 西館講師控室にて開催予定」

## VI. 委員氏名

コミュニケーション社会学科 : 登丸あすか  
児童発達学科 : 木村浩則、金子智栄子（委員長）、須藤佐知子  
人間福祉学科 : 安藤美樹、田嶋英行  
心理学科 : 西尾博行、文野洋